

## 令和3年度12月定例教育委員会議事録

### 【日時】

令和3年12月17日（金）

開会 午後1時30分

閉会 午後3時20分

### 【会場】

辰野町民会館 104 学習室

### 【出席者】

10名

（辰野町教育委員会）

教育長	宮澤 和徳
教育長代理	根橋 久人
教育委員	垣内 由佳
教育委員	関 政彦
教育委員	萩原 多恵子

（事務局関係）

こども課長	小澤 靖一
生涯学習課長	西原 功
こども課長補佐	
兼学校教育係長	桑原 さゆり
こども支援係長	井出 加代
学校教育係	向山 倅生

### 【傍聴者】

0名

## 【次第】

### 1 議事

- (1) 【非公開】就学の判断について
- (2) 【非公開】準要保護の認定について

### 2 協議

- (1) 【非公開】学校・保育園の様子及び運営上の諸課題
- (2) 【非公開】川島小学校に関わる諸課題についての協議
- (3) 全国学力学習状況調査の結果報告
- (4) 今年度の教育課程の状況と来年度教育課程の構想
- (5) 町教育委員会と社会教育委員との懇談内容

## ○開会

### 1 開会の言葉

＜宮澤教育長＞

- ・ただいまから 12 月の定例教育委員会を開催させていただきます。

### 2 会期の決定

＜宮澤教育長＞

- ・本日 1 日限りとしたいがよろしいでしょうか。
- ・異議なし

### 3 宮澤教育長挨拶

12 月も残すところ、あと 2 週間となりました。令和 3 年も終わろうとしていて、クリスマスや年末年始、お年取りの話題がテレビや新聞の広告などから流れてまいりますけれど、なぜか一向に「年末なんだ」という気持ち・意識にはなれない私がおりますが、皆さんはどうでしょうか。

この 1 年、コロナ禍と自然災害という 2 つの災害がありましたけれど、教育委員会が主管している保育園や学校、社会教育・社会体育関係の様々な活動や事業、企画等は、その都度臨機応変に対応させていただき、振り返ってみれば、総じて順調に執り行うことができたと思っております。これに関わっては、教育委員の皆さんにも様々な声が届いているかと思えます。この後、聴かせていただければと思います。

そのコロナですが、随分落ち着いてきたと思っていたわけですが、ここに来て、感染力が極めて高いオミクロン株という新たな株の登場で、今後状況が一変しそうな気配もあります。人の流れを伴う年末年始も控えております。まだまだ手を抜くことはできません。保育園や学校では、引き続き基本的な感染予防策の徹底を図りながら、残り 1 週間の 2 学期を乗り切りたいと思っております。

さて、今日の教育委員会は 15 時 15 分までとさせていただきます。15 時 30 分からは年 1 回の社会教育委員の皆さんとの懇談が予定されております。通常より短いわけですが、内容は多岐にわたっていますのでよろしくお願いいたします。

### 4 議事

#### (1) 【非公開】就学の判断について

- ・井出こども支援係長より説明。
- 全教育委員異議なし。5 名認定。

#### (2) 【非公開】準要保護の認定について

- ・桑原こども課長補佐より説明。  
全教育委員異議なし。3名認定。

## 5 協議

### (1) 【非公開】学校・保育園の様子及び運営上の諸課題

- ・宮澤教育長より説明。

### (2) 【非公開】川島小学校に関わる諸課題についての協議

<宮澤教育長>

- ・2月に総合教育会議を予定。その前に1回保護者との懇談を持ち、整理をしていく。その後について様々な質問や要望が出されるかもしれない。まちづくり政策課では、川島区活性化や移住定住について進めて行くことになる。

<A 委員>

- ・川島区の活性化と地域づくりが大きな課題となる。学校がなくなることに不安感を持っている人は間違いなくいる。その方の気持ちをどう地域づくりに反映していくか町も一生懸命考えてほしい。

<宮澤教育長>

- ・総合教育会議において、教育委員会からも言っていかなければならないことだと思う。先日、新たな動きが二つあったようだ。川島区に県立の小中一貫学校誘致を県教委に働きかけていただきたい旨の意見が寄せられ、また国際バカロレア学校誘致の話も町長にあったようだ。

<B 委員>

- ・川島は山間地でよい教育環境というが、町内すべての学校がいえること。教育環境とバカロレア、イエナープランなどの話を一緒にするとまたおかしくなる。

<小澤こども課長>

- ・川島小はそういう学校とのイメージが周囲にあるかもしれない。

<C 委員>

- ・いろいろな地域から様々な事情を持った子ども来ているので、そこから入ってきているかもしれない。

<宮澤教育長>

- ・このような話、本当に検討されたのか思い付きなのか。いろいろな動きがあるが、町立の川島小学校は子どもの学びで考えていく。

<D 委員>

- ・今日、川島小で注連縄づくりがあったと聞く。全校で行った行事、これは一つ魅力でもある。

<宮澤教育長>

・全校が関わる行事は微笑ましいことである。行事には全校でやるのが良いものと全校でやるのが本当に良いことなのかというものもあり、全校でやると1年生にはハードルが高く、6年生には物足りないものもある。

<小澤こども課長>

・昨日、平出保育園の説明会を保護者と未就園児保護者対象に行ったが、未就園の保護者は一人だった。計画があっても先が見えないと自分に関係があるのかないのか分からないから来なかったのではないかと指摘を受けた。川島小も、次は「何時か」が焦点になる。自分の子どもに関係するのかもしれないのかによって、関わり方が変わってくるのではないか。

<宮澤教育長>

・教育委員会が決断してもすぐとはならない。2、3年後ではないだろうか。

<小澤こども課長>

・平出保育園の説明会でも、5年以内に開園するということが、「いつ開園か」を発表するのは何時かと聞かれた。川島小も同じではないか。

<宮澤教育長>

・それは大事な要素かもしれない。

<小澤こども課長>

・簡単にはいかないと思う。

<宮澤教育長>

・現在、川島に住所を置き、西小に通学している子どもについて、議員より「補助金を出すように」との要望を受けたが、この点について意見をいただきたい。特認校制度で川島小に通学する場合は通学費補助があるが、川島から西小に通学する場合は補助がない。特認校制度で出しているならば、同じ補助を出してもいいのではないかという意見もあるが。

<E 委員>

・西小に通う子どもという括りで考えると定期券となる。特認校と同じにしてしまうと特認校が意味を成さなくなる。一緒に考えるのは違うのではないか。

<宮澤教育長>

・空気を運んでいるスクールバスがいる。中学生は数人しか乗らない。西小に通う唐木沢や上島、今村の子もわずかである。「席が空いているから乗せたら」という意見もあるが。

<F 委員>

・辰中に行くスクールバスに乗れる子どもの条件はあるのか。

<宮澤教育長>

・川島中学校が辰野中学校に統合した際の統合条件である。

<G 委員>

・上島区や今村区から西小に通っている子どもたちはスクールバスに乗ってきているのか。

<宮澤教育長>

・定期券を購入いただき、スクールバスと町バスに乗ることができる。どちらに乗ってもよい。

<H 委員>

・川島区の中学生在に乗っているスクールバスには、その中学生だけに乗っているのか。

<宮澤教育長>

・そうだ、辰中生であれば無料で乗ることができる。

<I 委員>

・中学生は川島区の生徒だけスクールバスに乗れる。唐木沢や上島の子は自転車か定期券を購入してスクールバスか町バスを利用して通学しているということでしょうか。

<桑原こども課長補佐>

・以前は川島線の定期バスしか乗れなかったが、目の前をスクールバスが行くので乗せてほしい旨要望があった。共通定期券をまちづくり政策課で発行し、両方に乗れるようになった。

<J 委員>

・川島区から西小に通っている子どもは、町バスを利用して通学しているのか。

<桑原こども課長補佐>

・保護者の送迎で通学している。

<宮澤教育長>

・9月議会では、「スクールバスに乗っている上島の子ども達の延長として川島からの定期を購入いただき、スクールバスや町バスに乗るという方向で」というのが私の答弁。一方で、町長は特認校制度の補助と同様に何か考えたいと答弁している。12月議会では、補助とスクールバスに乗せてほしいとの質問が出された。この点について町長と協議したいと再答弁している。

<K 委員>

・補助金を出してスクールバスにも乗せるということは如何なものか。

<L 委員>

・川島の子をスクールバスに中学生同様無料で乗せることに対しては理解が得られるだろうか。上島区などの定期を買っている保護者が納得できれば良いが無理だろう。

<宮澤教育長>

- ・理解が得られるとは思えない。

<M 委員>

- ・補助金を出せばスクールバスには乗せられない。スクールバスに乗せるならば補助金は出さないと納得は得られないのではないか。

<宮澤教育長>

- ・後があるので今日はここまでとする。それぞれ意見をまとめておいていただきたい。

(3) 全国学力状況調査の結果報告

- ・宮澤教育長より辰野町の学校の結果を説明。

<教育委員>

- ・何らかの形で、保護者に辰野町の学力の状況が共有されるのか。

<宮澤教育長>

- ・各学校から結果をまとめた家庭通知が出る。その他にベネッセから個票が来ると思う。

(4) 今年度の教育課程の状況と来年度教育課程の構想

- ・宮澤教育長より説明。  
各学校の令和4年度の教育課程を確認。

(5) 町教育委員会と社会教育委員との懇談内容

- ・宮澤教育長より説明。  
(1)With コロナ時代の教育行政  
(2)人口減少、少子高齢化に伴う諸課題  
(3)全国学力学習状況調査の結果から見える児童生徒を取り巻く環境  
(4)社会教育委員が取り組んできたこと  
以上について懇談することを確認。

6 閉会